

知って役立つ！

タイ移住

資産運用ガイド



監修者



Global Support (Thailand) Co.,Ltd.

代表 久米直也

<プロフィール>

愛知県出身。郵政省・日本郵政公社（現日本郵政株式会社）にて12年、主に保険業務を担当。郵政大臣表彰、国際優績表彰などを受賞。AIGエジソン生命在籍時はMVP表彰、MDRT会員として3年間営業に従事した後、2011年にGlobal Support (Thailand) Co., Ltd. の事業譲渡を受けてタイに移住。

タイ移住後は、ブログやYouTubeチャンネル【タイ在住・移住者向け資産運用チャンネル】を通じて、資産形成や運用に関する情報を積極的に発信中。これまでに多くの海外移住者の資産形成をサポートしてきた経験と実績を持つ。



Global Support (Thailand) Co.,Ltd.

571 RSU Tower, Unit 304, 3/F,
Sukhumvit soi 31, Sukhumvit Rd,
Klongton Nua, Wattana, Bangkok
10110 Thailand

kume@globalsupportlimited.com

目次



準備すべき！

日本の銀行口座ガイド・・・・・・・・・・ P3

どうなるの！？

日本の証券口座ガイド・・・・・・・・・・ P4

生活費の管理

タイの銀行口座ガイド・・・・・・・・・・ P5

事前に把握！

タイの金融機関ガイド・・・・・・・・・・ P6

ルールを把握

タイの国外源泉ガイド・・・・・・・・・・ P7

移住後に開設！

海外の証券口座ガイド・・・・・・・・・・ P8

守りの運用

海外の生命保険ガイド・・・・・・・・・・ P9

知っておきたい

海外不動産投資ガイド・・・・・・・・・・ P10

ビジネス展開

タイの事業投資ガイド・・・・・・・・・・ P11

日本の

準備すべき!

銀行口座ガイド

下記2つの銀行を開設しておくくと便利です!

日本から海外への送金 | SMBC信託銀行プレスティア

SMBC信託銀行プレスティアは、海外送金などで「円」から「外貨」にする際にメリットがあります。積立設定や指値設定をすると為替手数料無料などのサービスがあったり、キャンペーンなどもあったりします。

海外から日本への送金 | ソニー銀行

ソニー銀行は外貨から円にする際の為替手数料が安いです。例えば海外で資産運用して得た資産を日本に送金する際などに適しています。インターネットバンキングで送金できるため手間もかかりません。

注) 非居住者になると口座開設できません。日本の居住している間に開設しておくことをおすすめします。



タイ移住予定者必見!
日本で準備しておくべき
銀行口座
Global Support (Thailand) Co., Ltd.
久米 直也

< 参考情報 >

■タイ移住Navi ブログ記事

<https://thailand-ijyunavi.com/international-transfer/>

■タイ移住Navi Youtube動画

https://youtu.be/YCW06bZ_gMA?si=J5pLc1dg1kGp3pSy

どうなるの!?

日本の

証券口座ガイド

日本の非居住者になることによる諸制限

タイに限らず、海外に居住すると日本で証券口座を開設できなくなります。また、既に証券口座をお持ちの場合でも、取引が大きく制限されたり、口座解約手続きをする必要があることもあります。タイへ移住する前に非居住者になった場合の各証券会社の対応について確認しておくことをおすすめします。

移住前に知っておくべき資産管理事情

「**国外転出時課税制度**」など、海外移住に関連する税制度もしっかり理解しておくことをおすすめします。

税や国際相続は専門家に確認を！



注) タイ移住に伴う税務や相続関係の事柄については各分野の専門家へご相談ください。

タイの

生活費の管理

銀行口座ガイド

タイの5大銀行

タイ在住の方は、カシコン銀行・バンコク銀行・クルンタイ銀行・アユタヤ銀行・サイアムコマーシャル銀行の5大銀行のいずれかまたは複数の銀行口座を開設していることが多いです。



アユタヤ銀行



カシコン銀行



バンコク銀行



SCB銀行



クルンタイ銀行



タイのATM

各銀行には専用アプリがあります。アプリ内のQR機能を活用することで、銀行口座内から簡単に支払いすることができます。

事前に把握!

タイの

金融機関ガイド

タイの金融機関での投資信託・株式投資

タイの金融機関でも投資信託や株式投資ができます。タイの金融機関で投資をした投資信託や株式についてはキャピタルゲイン課税がありません。インカムゲインの税金は10%です。ただし、外国人に限り株式においては原則タイ株以外へ投資ができません。

< 所得控除 >

タイにも日本のiDeCoのような所得控除を利用した投資（SSF/RMF）があります。



他国へ移住予定の方



タイの銀行や証券会社は本帰国後に解約を勧めており、タイ以外の国に移住や赴任する場合はその時点で売却する必要があります。

※タイの金融機関はタイに住んでいる人に対してサービスを行なっています。この点は日本の金融機関と同じ考え方です。

ルールを把握

タイの

国外源泉ガイド

タイ国外源泉所得の持ち込み課税

タイでは国外源泉所得をタイに持ち込んだ場合は課税となるルールがあります。

2024年1月から開始となった税制です。タイに居住して資産運用を行う方は覚えておきましょう。



※本資料掲載時点での情報です。今後ルールが変更となる可能性があります。

税務上の居住者？非居住者？



海外居住者の税務の事柄と併せて話題に上がることが多いのが、居住者・非居住者の判断です。日本とタイでそれぞれ判断基準がありますので、税理士や税務署にしっかりと確認しましょう。

移住後に開設！

外国の

証券口座ガイド

タイ移住後の外国証券口座開設について

タイ移住後は外国証券口座を利用して投資ができます。外国の証券口座を活用することで、米国株や日本株へ投資することができます。

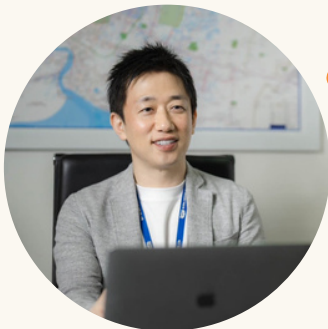
<参考ページ>

▶タイ在住中に米国株へ投資をする時はどの金融機関がいいの？金融機関の選び方をわかりやすく解説！

<https://globalsupportthailand.com/2022/10/16/dollorstocks/>

▶タイ在住中にできる日本株への投資方法を解説！

<https://globalsupportthailand.com/2021/09/25/foreign-securities-account/>



外国証券口座と株式投資は香港貯蓄型保険と併せて、よくご相談いただくテーマの一つです。お気軽にご相談ください！

必見！

守りの運用！

海外の生命保険

タイ在住中だからこそできる資産運用

海外生命保険はまとまった資金を活用した資産形成に適しています。日々の相場に影響を受けにくい、一定期間をすぎると元本確保されるなど、現在の資産を安定させたい方におすすめな資産運用の選択肢です。

また、世界中の銀行口座で自由にお受け取りができた
り、死亡後も子どもに名義変更ができた
りなど、日本の保険ではできない機能が備わっています。一方、リスク面では為替リスクや短期解約リスクがあります。

<参考ページ>

サンライフ香港の米ドル建て貯蓄型保険SunJoy（サンジョイ）を徹底解説！

<https://globalsupportthailand.com/2023/03/10/sunjoy/>



海外の生命保険について何か
ご不明な点がございましたら
お気軽に弊社の**無料個別相談**
をご利用ください！

必見！

知っておきたい

海外不動産投資

タイ在住者の不動産投資について

タイの Condominium やタイ以外の国の物件などへ投資することができます。例えば、タイではプレビルドといって、建設開始前の企画段階から物件購入ができます。

海外不動産といっても国やエリア、物件や部屋ごとに条件が異なります。資産がある程度ある方は実需や透明性の高い先進国の不動産へ投資をする人も多いです。



< 出口戦略 >

不動産投資を行う際は物件の選定だけでなく、為替や金利、その他に国際税務の知識が必要となってきます。**相続で苦勞する場合がありますので、出口戦略を考えて投資を行うことをおすすめします。**



ビジネス展開！

タイの

事業投資ガイド

タイ現地での起業やビジネス展開

タイでは、既にお客様がついている店舗の譲渡を受けてタイで事業を拡大している方もいます。日本で事業を成功させた方が自らオーナーや経営者となってタイでも事業展開を行っていくケースはよく聞きます。



タイではゼロから会社を立ち上げて起業する方も多いです。事業を行う前に、視察を含め、しっかりと情報収集を行うことをおすすめします。

法人設立のルール・税務・法務・労務

タイでは法人設立に必要な条件がいくつかあります。また、会計税務・労務・法務についても日本と異なる点が多いです。事業を行う方はご注意ください。

